

☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

平成29年3月2日 VOL. 30

医療介護の連携推進 キーワードは介護職の活躍！

地域包括ケアシステム推進の司令塔である「地域包括ケアシステム専門会議（委員長：三輪誠志太医師会長）では、指標である「在宅看取り率」の向上に、通所介護事業所や訪問介護事業所等の**介護職が大きな役割**を果たしていることに注目しています。

第28回在宅医療部会



平成29年2月20日（月）に開催した在宅医療部会（主催：志太医師会 藤枝市委託事業）では「本人・家族の希望に添い、サービスを利用しながら自宅（サービス付高齢者住宅）で看取った事例」他について報告しました。報告には事例に関わった医師・訪問看護師・ケアマネ・薬剤師・通所介護事業所・訪問介護事業所・訪問マッサージ・福祉用具事業者が登壇し、**情報共有や連携を通しケアの質**について討論しました。

静岡県版在宅医療・介護連携情報システム活用研修会

多職種連携をキーワードに患者さん・利用者さんの情報をタイムリーに発信し共有する**研究事業**(地域包括ケアシステム専門会議作業部会)を**スタート**しました。

3月1日（水）に志太医師会在宅医療担当吉田理事を中心に関係機関・関係職種約50人が参集し、県版システムの説明後、「必要な情報」「伝えたい情報」について意見交換を行いました。今後、ICT活用モデル事業として展開していきます。



企画運営：市在宅医療コーディネーター

4月スタート 介護予防・日常生活支援総合事業に向けて

2月22日（水）生涯学習センター



新しい総合事業が始まることで、介護予防のサービスは、今まで以上にきめ細やかなサービスを受けることができるようになります。これまで要支援者（要支援1・2）を対象として実施していた介護予防給付サービスのうち、訪問介護と通所介護が再編されます。今回は総合事業に参入予定の事業所（約250人出席）を対象に国保連合会に講師を依頼し、サービス請求方法の説明会を行いました。今後の予定：3月24日（金）にケアマネジメント研修会を開催します。